

## 背景

- 近年では、「最新技術（テクノロジー）の活用」により、今までできなかった、諦めていたことができるようになってきています。
- 例えば、AI、VR、IoTといった様々なデジタル技術が市民の生活を豊かにかつ便利にしています。

## 鎌倉市の行政課題

- 社会のデジタル化に伴い、デジタル機器に抵抗を感じる住民の方、特にシニア世代の方々にもデジタル技術の積極的な活用で、生活をより豊かに、楽しくなったと感じてもらえるようにすることが鎌倉市の課題となっています。
- そのため、デジタル機器支援の仕組みや方法を模索しています。

## 鎌倉リビングラボの活動目的

- 住民の方が本当に望む仕組みや方法を模索するため、
- 住民の方からこれまでの経験や暮らししぶりを聞いて、産官学民が一緒になって考えていきます。
- 住民の方が求める仕組みや方法を具体的にし、実際に試しながらよりよいものにしていきます。

## 活動の全体の流れ

※イメージ

### 「社会のデジタル化に伴うシニア世代への支援方法の模索」

